

地域・在宅の看護特性論 授業科目：★	塚本由利子 地域包括支援センター 看護師 介護支援専門員 退院調整看護師	2 単位 44 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 地域保健・医療・福祉の活動体系と、その中で行われる在宅看護活動の対象および場を理解し看護の役割について考える		
回数	講義内容	学習方法
1	オリエンテーション 地域のなかでの暮らしと健康・看護	講義
2	人々の暮らしと地域・在宅看護	講義
3	暮らしの基盤としての地域の理解	講義
4	地域・在宅看護の対象者 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用①	講義
5	宝塚市の〇〇を調べよう①～まち探検オリエンテーション、宝塚のまち調べ～	講義・GW
6	宝塚市の〇〇を調べよう②～地域の社会資源調べ、まち探検をプランニング～	GW
7	発見!たからづか!～まち探検へLet's Go!	フィールドワーク
8		
9	グループまとめ	GW
10	グループまとめ	GW
11	発表	発表
12	発表・まち探検のまとめ～地域・在宅看護にかかわる制度とその活用②	発表・まとめ
13	地域における暮らしを支える看護～『こんな夜更けにバナナかよ』に学ぶ①	DVD視聴
14	『こんな夜更けにバナナかよ』に学ぶ②意見交換	GW・発表
15	地域・在宅看護の対象(家族)	講義
16	地域・在宅看護実践の場と連携～訪問看護師の役割	講義
17	地域・在宅看護実践の場と連携 ①地域包括支援センターにおける看護の役割(地域包括支援センター看護職)	講義
18	②居宅介護支援事業所におけるケアマネジメント(介護支援専門員)	講義
19	③地域医療室における在宅移行支援(退院調整看護師)	講義
20	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働(教科書2)	講義
21	地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働(教科書2)	講義
22	まとめ・終講試験	終講試験
【教科書】 系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 医学書院		
【参考書】 講義中に紹介します		
【使用予定視聴覚機材】 パワーポイント、講義資料		
【評価方法】 筆記試験:平常点も考慮する(提出物期限、発表内容他) 合計100点		

授業科目： 地域での生活を支える 看護Ⅰ★	講師 矢野佳子 今西順子 看護師	Ⅰ 単位 20 時間 履修時期 Ⅰ年生後期
--------------------------	------------------------	-----------------------

**【科目目標】**

対象とその家族の地域での生活を支える看護の実践に必要な援助方法と技術を学ぶ。

回数	講義内容	学習方法
1	訪問看護の制度 訪問看護サービスの提供	講義
2	コミュニケーション 在宅看護を展開するうえで検討すべきポイント	講義
3	呼吸に関する在宅看護技術	講義
4	食生活、嚥下に関する在宅看護技術	講義・演習
5	排泄に関する在宅看護技術	講義
6	移動・移乗に関する在宅看護技術	講義
7	清潔に関する在宅看護技術	講義
8	認知機能のアセスメント法と援助技術	講義
9	コミュニケーションの支援 在宅看護におけるリスクマネジメント	講義
10	終講試験	終講試験

**【教科書】**

系統看護学講座 地域・在宅看護論Ⅰ 地域・在宅看護の基盤 医学書院  
 系統看護学講座 地域・在宅看護論Ⅱ 地域・在宅看護の実践 医学書院

**【参考書】**

強みと弱みからみた在宅看護過程／医学書院

**【使用予定視聴覚機材】**

パワーポイント

**【評価方法】**

筆記試験：100点

授業科目	地域での生活を支える看護Ⅱ★	講師名	矢野 佳子 今西 順子 上垣 尚美 看護師	Ⅰ 単位 20 時間 履修時期	2年生後期
【科目目標】 医療処置を必要とする対象の理解とその家族の生活を支える看護技術を習得する。					
回数	講義内容			学習方法	
1	①在宅酸素療法 病院の導入から、維持期の看護、事例紹介 ②NIPPVの管理 病院の導入から、維持期の看護、事例紹介			講義	
2	③人工呼吸器 観察、退院から維持期まで、災害時 他職種連携			講義	
3	帝王酸素(講義・体験) ①在宅酸素(HOT)療法 ②NIPPVの管理			演習	
4	キンキ酸素(講義・体験) ③人工呼吸器			演習	
5	①褥瘡 ②尿道留置カテーテル ③ストーマ ④その他の医療処置(経管栄養法、HPN、がん治療) 在宅話			講義	
6	難病患者A氏の在宅看護①A氏の紹介、神経難病とは			講義 個人W・GW	
7	難病患者A氏の在宅看護②初期段階、リハビリテーションなど ニーズから目標、プランを考える			個人W・GW DVD学習	
8	難病患者A氏の在宅看護③ 進行とともに起こる問題、自己決定など			個人W・GW DVD学習	
9	難病患者A氏の在宅看護④ 「在宅で過ごすということ」「在宅看護で大切なこと」について考える			個人W・GW	
10	終講試験				
【教科書】 系統看護学講座 地域・在宅看護論Ⅰ 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論Ⅱ 地域・在宅看護の実践 医学書院					
【参考書】					
【使用予定視聴覚機材】					
【評価方法】 筆記試験:医療処置を必要とする対象の看護(50点)+難病(50点)=100点					

授業科目：専門職連携★	講師名：加納 里美 看護師 妙中 信之 医師	1 単位 30 時間 履修時期 2年生通年
【科目目標】 ・多職種連携教育の意義を理解し、多職種の役割を学び、看護の役割を認識する。 ・事例検討会を実施することで、共通言語の必要性を認識し、IPチームの共通の目標をもつ。		
回数	講義内容	学習方法
1	多職種協働の意義と学習目的・チーム医療の実際と連携の心得	講義
2	管理栄養士の役割と連携・協働の実際	講義
3	薬剤師の役割と連携・協働の実際	講義
4	医師の役割と連携・協働の実際	講義
5	臨床心理士の役割と連携・協働の実際	講義
6	小テスト、事例展開に向けて	講義
7	多職種連携教育の実際 (事例提示：Aさん 61歳 脳梗塞(アテローム血栓性脳梗塞(左中大脳動脈 閉塞で運動障害・嚥下障害のある対象の在宅療養に向けた支援) (事例提示：Bちゃん、食物アレルギーを有する小児の支援)	講義
8	事例展開① GW	GW
9	事例展開② GW(協同学習)	GW
10	事例展開③ GW	GW
11	事例展開④ GW(協同学習)	GW
12	事例展開⑤ GW	GW
13	事例展開⑥ GW(協同学習)	発表
14	発表(事例における看護師・栄養士の役割と機能)：Aさん	発表
15	発表(事例における看護師・栄養士の役割と機能)：Bちゃん	
【教科書】 系統看護学講座 基礎看護学概論・基礎看護学Ⅰ 医学書院		
【参考書】 健康支援と社会保障制度Ⅰ 医療概論 医学書院		
【使用予定視聴覚機材】 ・PC プロジェクター		
【評価方法】 小テスト+グループワーク+レポート 合計100点		

授業科目	おとなの看護特性論★	2 単位 52 時間 履修時期 1年生通年
【科目目標】		
1. 成人期にある対象が理解でき、成人の生活と健康、健康問題が理解できる。		
2. 高齢者の身体的、心理的、社会的変化と特徴を理解し、高齢者看護の機能と役割を理解する。 また、老人保健の意義及び動向と社会福祉システムを理解し、老人保健活動と看護の役割を理解する。		
内容	成人の看護特性論	講師名:宮崎 悦子 看護師
回数	講義内容	学習方法
1	成人とは、成人の特性について	講義
2	おとなの発達課題(エリクソン・ハヴィガースト)	講義
3	成人期にある人の身体、心理、社会的特徴について (青年期・壮年期・向老期)	講義
4		
【教科書】		
系統看護学講座 専門分野 成人看護学Ⅰ 成人看護学総論 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
PC、プロジェクター、DVD		
内容	高齢者の看護特性論	講師名:真辺 恵子 看護師
1	老年看護学とは、老いのイメージ	講義
2	高齢者の理解、何が不自由で何を援助するか	講義・高齢者体験
3	高齢者の理解、時代背景	講義・DVD
4	↓	講義
5		高齢者のQOLと自立、高齢者をとりまく倫理的問題
6	↓	講義
7		高齢者医療・保健・福祉の動向と対策
8	高齢者看護の特性と役割、実習オリエンテーション	講義
9~17	介護老人福祉施設実習(3日間)	実習
18・19	介護老人福祉施設実習まとめ・発表	グループワーク
20	老人保健活動と看護の役割	講義
21	老人保健活動における看護理論の活用	講義
22	終講試験	講義
【教科書】		
系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】		
PC、プロジェクター、DVD		
【評価方法】		
筆記試験:成人看護特性論(50点)+高齢者の特性論(110点)=160点		

授業科目:がん看護★	吉田こずえ 看護師 講師名: 藤森令子 看護師 藤澤真由 看護師	1 単位 30 時間 履修時期	3年生通年
【科目目標】 がん医療の現状と病態について理解し、がん患者をささえる看護について理解する			
回数	講義内容	学習方法	
1	1 がん医療の現状と看護 1) がん看護 2) がん対策基本法 3) がん対策推進基本計画 4) がんサバイバーシップの概念	講義・GW	
2			
3			
4			
5	2 がん薬物療法を受ける患者・家族の看護(がん化学療法認定看護師:有賀看護師)	講義	
6	がん薬物療法を受ける患者・家族の看護(がん化学療法認定看護師:藤森看護師)	講義	
7	3 がんの病態と臨床経過 1) がんのメカニズム 2) 集学的治療について 3) がん病変に対する治療の選択 4) 倫理的問題 5) 意思決定支援 6) 人生会議	講義	
8			
9	4 放射線 1) 放射線総論 (がん放射線療法看護認定看護師:藤澤看護師)	講義・GW	
10			
11	2) 治療 放射線治療を受ける患者・家族の看護 (がん看護専門看護師:吉田看護師)	講義	
12			
13	5 がん治療の場と看護	講義	
14	6 がん看護における退院支援	講義	
15	終講試験		
【教科書】 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC+パワーポイント			
【評価方法】 筆記試験:100点			

授業科目:高齢者の健康を支える看護 ★		1 単位 30 時間 履修時期 2年生前期	
【科目目標】 加齢現象を解剖生理学的側面から理解し、高齢者に多い疾患および治療と看護を理解する。 健康障害や認知症から生活機能が低下した高齢者及び家族に対して適切な看護を学ぶ。			
内容	老化と健康障害	講師名:安部 万里 看護師	
回数	講義内容		学習方法
1	加齢による変化の特徴 認知症の病態・症状の理解、診断・治療		講義
2	認知症の原因疾患に対する各論 認知症の予防		講義
3	加齢に伴う高齢者の特徴の新しい概念 生活機能 認知症と転倒との関係性		講義
4	うつ病の症状とケア せん妄(認知症との違い・治療とケア) 認知症ケアの歴史 認知症の現状 認知症のケア アセスメント		講義
5	認知症患者に特有のコミュニケーションとは ユマニチュード		講義
6	認知症の人にとっての環境の意味と捉え方 身体拘束の現状		講義・GW
内容	健康障害を持つ高齢者の看護	講師名:若生 隆代 看護師	
回数	講義内容		学習方法
1	薬物療法を受ける高齢者と家族の看護		講義
2	高齢者と生活リズム 睡眠障害 リズムを整える看護		講義
3	転倒予防 高齢者の転倒の要因、背景 影響 予防のためのケア		講義
4	脱水症状をおこしやすい因子 脱水症状のある高齢者のケア		講義
5	食事・食生活 食欲不振のある高齢者の看護 摂食・嚥下障害のある高齢者の看護		講義
6	経管栄養法		演習
7	排泄障害 便秘 高齢者の便秘の特徴、日常生活の工夫 尿失禁 高齢者の尿失禁の特徴、生活に及ぼす影響、ケア		講義
8	コミュニケーション 方法 検査を受ける高齢者と家族の看護 入院・退院時における高齢者の看護		講義
15	終講試験(老化と健康障害とともに)		
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター 終講試験終了後DVD視聴			
【評価方法】 筆記試験:老化と健康障害(50点)+健康障害をもつ高齢者の看護(50点)=100点			

授業科目:こどもの看護特性論★	講師名:島田 亜子 看護師	2 単位 44 時間 履修時期 2年生前期
-----------------	------------------	-----------------------

【科目目標】

1. こども観の変遷を理解し、小児看護の役割を考えることができる。
2. 小児各期における成長・発達を理解し、各発達段階に応じたこどもと家族への援助方法が理解できる。
3. 現代社会におけるこどもを取り巻く環境と社会制度が理解できる。
4. こどもを一人の人権を持った対象と捉え、尊重する関わり方を考えることができる。

回数	講義内容	学習方法
1	I 小児看護の概念と理論 1. 小児看護とは	講義
2	2. 小児看護の歴史と意義	講義
3	3. 小児看護で用いられる理論	講義
4	保育所実習オリエンテーション	講義
5	II こどもの成長・発達と看護 1. 成長・発達の原則	講義
6	2. 成長・発達の評価	講義
7	3. 乳児期	講義
8	保育所実習施設オリエンテーション	講義
9	II こどもの成長・発達と看護 4. 幼児期	講義
10	保育所実習(3日間)	見学実習
11	保育所実習まとめ・発表	GW
12	II こどもの成長・発達と看護 5. 学童期	講義
13	6. 思春期	講義
14	III こどもと家族を取り巻く社会	講義
15	IV こどもの権利と看護	講義
16	終講試験	試験

【教科書】

系統看護学講座 専門分野 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院  
 保育所保育指針 フルーベル社  
 写真でわかる小児看護技術 インターメディア

【参考書】

こども白書 著者:日本こどもを守る会 出版社:本の泉社  
 世界子供白書 著者:ユニセフ 出版社:(財)日本ユニセフ協会  
 看護のための人間発達学 著者:舟島なをみ 出版社:医学書院  
 国民衛生の動向 厚生労働統計協会  
 一年一組先生あのね 著者:鹿島和夫 出版社:理論社

【使用予定視聴覚機材】

PC、プロジェクター

【評価方法】

筆記試験:100点

授業科目：こどもの健康を支える看護Ⅰ★	講師名：落合 智美 医師	1 単位 16 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 小児期に多い代表的疾患の病態生理を中心に主な症状と治療について理解する。		
回数	講義内容	学習方法
1	1、出生前の疾患 2、新生児の特徴と疾患	講義
2	3、遺伝疾患・染色体異常	講義
3	4、代謝・内分泌疾患 5、免疫・アレルギー・膠原病	講義
4	6、感染症・呼吸器疾患	講義
5	7、循環器疾患	講義
6	8、腎臓・泌尿器疾患 9、消化器疾患	講義
7	10、血液・腫瘍疾患 11、神経・筋・精神疾患	講義
8	終講試験	試験
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験：100点		

授業科目: 子どもの健康を支える看護Ⅱ ★	病棟看護師 外来看護師 島田亜子 看護師	1 単位 16 時間 履修時期 2年生後期
<b>【科目目標】</b> 1. 子どもの成長発達段階をふまえて健康上の課題をアセスメントし、子どもとその家族への援助を学ぶ。 2. 健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響を理解する。 3. 子どもの成長発達・健康上の課題に応じた看護を理解する。		
<b>回数</b>	<b>講義内容</b>	<b>学習方法</b>
1	1、健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護	講義
2	2、急性症状のある子どもと家族への看護 1) 発熱時 2) 脱水時	講義
3	3) 痙攣時 4) 呼吸困難時	講義
4	3、子どもと家族への看護－プレパレーションの意義－	講義
5	4、検査や処置を受ける子どもと家族への看護	講義
6	5、痛みのある子どもと家族への看護	講義
7	6、外来における子どもと家族への看護	講義
8	終講試験	試験
<b>【教科書】</b> 系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院		
<b>【参考書】</b>		
<b>【使用予定視聴覚機材】</b> PC、プロジェクター		
<b>【評価方法】</b> 筆記試験: 子どもの看護(90点) + 外来看護(10点) = 100点		

授業科目:母性の看護特性論 ★	講師 大本 奈美 助産師	1 単位 18 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 1. 母性看護を取り巻く社会情勢を捉え、次世代の健康を守る意義を理解する。 2. 母性看護の対象への基本的アプローチについて理解する。 3. 母性看護の特徴や健康問題を学び、看護の役割を理解する。		
回数	講義内容	学習方法
1	母性看護とは、母性とは 母子関係と家族の発達、セクシュアリティ	講義
2	母性看護における倫理問題	講義・DVD
3	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	講義
4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状(法律)	講義
5	母性の看護の対象と理解 女性のライフサイクルの変化	講義
6	女性のライフサイクル各期における看護	講義
7	女性のライフサイクル各期における看護	講義
8	母性の特性論まとめ いのちとは	講義・母子手帳持参
9	終講試験	筆記試験
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 母性看護学Ⅰ 母性看護学概論 医学書院		
【参考書】 講義で適宜提示		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:母性の健康を支える看護Ⅰ★		Ⅰ 単位 22 時間 履修時期	2年生前期
【科目目標】 1. 妊娠・分娩・産褥経過の生理的な経過を理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥経過の異常について理解する。			
内容	・妊娠・分娩・産褥の生理 ・周産期のハイリスクおよび異常	講師名:平野 剛 医師	
回数	講義内容	学習方法	
1	女性性器の解剖(外性器、内性器の構造および機能) 妊産婦死亡率、周産期死亡率、新生児死亡率	講義	
2	妊娠の生理(1 受精、着床、2 母体の生理的变化)	講義	
3	妊娠の生理(3 胎児の発育、胎児循環)	講義	
4	妊娠の病理(流産、異所性妊娠、胎状奇胎、血液型不適合妊娠)	講義	
5	妊娠の病理(早産、前期破水、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離、前置胎盤)	講義	
6	妊娠の病理(妊娠糖尿病、感染症:風疹、麻疹、水痘、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、トキソプラズマ)	講義	
7	妊娠の病理(感染症:クラミジア、CMV、B型肝炎、C型肝炎、梅毒、インフルエンザ、ATL、伝染性紅斑、GBS、GAS、リステリア感染症、心筋炎)	講義	
8	分娩の生理(分娩の3要素:娩出力、産道、娩出物)	講義	
9	分娩の病理(分娩の3要素の異常):1 娩出力の異常:微弱陣痛、過強陣痛、2 産道の異常:狭骨盤、CPD、3 娩出物の異常:回旋以上、骨盤位、横位、臍帯下垂・脱出)	講義	
10	分娩の病理(臍帯および胎盤異常、分娩時母体損傷:子宮破裂、子宮頸管裂傷、会陰裂傷、膣外陰血腫、弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症) 産褥の生理(子宮復古、授乳)と病理(産褥熱、周産期うつ病、乳腺炎)	講義	
11	終講試験	筆記試験	
【教科書】 系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験:100点(小テスト、授業態度含む)			

授業科目:母性の健康を支える看護Ⅱ ★		1単位 28時間 履修時期 2年生後期
【科目目標】		
1. 周産期における母性の身体的、心理的、社会的特性を理解し、母性看護の役割を理解する。		
2. 周産期における対象の特性を理解し、正常に経過するための看護を理解する。		
3. 新生児の生理的变化をふまえた看護を理解する。		
内容	妊娠期における看護	講師名:新居 麻美子 助産師
回数	講義内容	学習方法
1	妊娠初期の看護	講義
2	妊娠中期の看護	講義
3	妊娠末期の看護	講義
4	ハイリスク妊娠と看護	講義
【教科書】		
系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院		
【参考書】		
カラー写真で学ぶ 妊産褥婦のケア 医歯薬出版		
カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術 医歯薬出版		
【使用予定視聴覚機材】		
PC,プロジェクター		
内容	分娩期・産褥期における看護	講師名:片山 奈美 助産師
回数	講義内容	学習方法
1	産婦のアセスメント	講義
2	分娩経過にともなう看護ケア	講義
3	分娩期のメンタルヘルスケア	講義
4	正常な産褥のアセスメント	講義
5	正常な産褥の看護ケア	講義
6	産後のメンタルヘルスケア	講義
7	産後の届け出と母子保健対策	講義
【教科書】		
系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院		
【参考書】		
カラー写真で学ぶ 妊産褥婦のケア 医歯薬出版		
カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術 医歯薬出版		
【使用予定視聴覚機材】		
PC,プロジェクター		

内容	新生児の看護	講師名:竹野 美智子 助産師
回数	講義内容	学習方法
1	正常な新生児の基礎的理解	講義
2	正常な新生児の看護ケア	講義
3	終講試験	
系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院		
【参考書】 カラー写真で学ぶ 新生児の観察と看護技術 医歯薬出版		
【使用予定視聴覚機材】 PC,プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験:妊娠期の看護(30点)+分娩期・産褥期の看護(60点)+新生児の看護(10点)=100点		

授業科目： こころの看護特性論★		Ⅰ 単位	30 時間	履修時期	2年生前期
【科目目標】					
1.精神科看護の歴史的変遷と看護を学ぶ。 2.精神科看護の目的、対象、役割、機能を理解する。 3.精神科看護を学習するにあたり、人間関係について重要性、また患者との発展過程について学ぶ。 4.精神科におけるコミュニケーション方法について学ぶ。 5.こころの様々なはたらきとしくみについて、生理学的・社会的側面から理解する。					
内容		こころのケアと精神の歴史的背景		講師名： 岩本 繁行 看護師	
回数	講義内容				学習方法
1	第1章 精神看護で学ぶこと 心のケア				講義
2	第2章 精神保健の考え方 精神の健康とは				講義
3	心身の健康に及ぼすストレスの影響 ストレスと健康の危機 コーピングなど				講義
4	精神障碍という捉え方				講義
5	第3章 人間の心のはたらきと人格の形成 心のはたらき 1)意識2)認知 3)知覚 4)記憶 5)思考 6)感情 学習と行動 知能 心理的特性をはかる検査				講義
6	心のしくみと人格の発達 1)人格と気質 2)意識と無意識 3)記憶 よい乳房・わるい乳房—対象関係論				講義
7					講義
8	愛着と心の安全基地—ボウルビイの愛着理論 ピアジェ				講義
9	自己愛と自己対象体験—コフートの自己心理学				講義
10	「甘え」理論				講義
11	回復を支える力 レジリエンス 精神障碍者の法律的定義 国際生活機能分類(ICF)など				講義
12	第7章 社会のなかの精神障碍 精神障碍と治療の歴史など				講義
13	日本における精神医学・精神医療の流れ				講義
14	精神医療と法制度				講義
15	まとめ・試験				講義/試験
【教科書】					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔Ⅰ〕精神看護の基礎 医学書院					
【参考書】					
その他資料					
【使用予定視聴覚機材】					
PC、プロジェクター					
【評価方法】					
筆記試験：心のケアと精神の歴史的背景(50点)+心の働きと人格形成(50点)・出席参加状況・授業態度など=100点					

授業科目:こころの健康を支える看護★		2 単位 40 時間	履修時期	2年生通年
【科目目標】				
1. ケアの人間関係は、その前提として、感情を通じて自分を知り、相手を理解することが必要不可欠であることを学ぶ。				
2. 病院中心から地域におけるケアへと向かう現在の日本の地域精神保健の動きを知る。				
3. 精神科受診から入院までの環境を学び、精神科における入院形態を学ぶ。				
4. 精神疾患の回復段階に応じた身体ケアと精神科で行われることが多い日常的なケアの実際を学ぶ。				
5. 一般診療科において、身体疾患の治療を受ける患者が陥りやすい精神保健上の問題には、どのようなものがあるのか学ぶ。				
6. 災害とはなにか。災害がもたらす身体的・精神的・社会的影響を学ぶ。				
内容	精神看護の実際と患者看護師関係	講師名:岩本 繁行 看護師		
回数	講義内容		学習方法	
1	第8章 ケアの人間関係		講義	
2	ケアの原則		講義	
3	ケアの方法		講義	
4	関係をアセスメントする コラム-ペプロウ、トラベルビー、プロセスレコードの活用 精神症状①		講義	
5	精神症状②		講義	
6	精神症状③		講義	
7	患者-看護師関係における感情体験		講義	
8	関係の視点から見た困難事例		講義	
9			講義	
10	第10章 器としての地域		講義	
11	社会資源		講義	
12	学校・職場におけるメンタルヘルスと精神看護		講義	
13	第11章 入院治療の意味		講義	
14	第12章 「身体をケアする」		講義	
15	第13章 安全をまもる		講義	
16	第14章 医療の場におけるメンタルヘルスと看護		講義	
17	第15章 災害時のメンタルヘルスと看護		講義	
18	第16章 看護師における感情労働と看護師のメンタルヘルス		講義	
19	リスクマネジメント 暴力・無断離院など		講義	
20	まとめ・試験		講義/試験	
【教科書】				
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院				
【参考書】				
その他資料				
【使用予定視聴覚機材】				
PC、プロジェクター				
【評価方法】				
筆記試験:精神看護の実際(50点)+患者-看護師関係(50点)出席参加状況・授業態度など=100点				